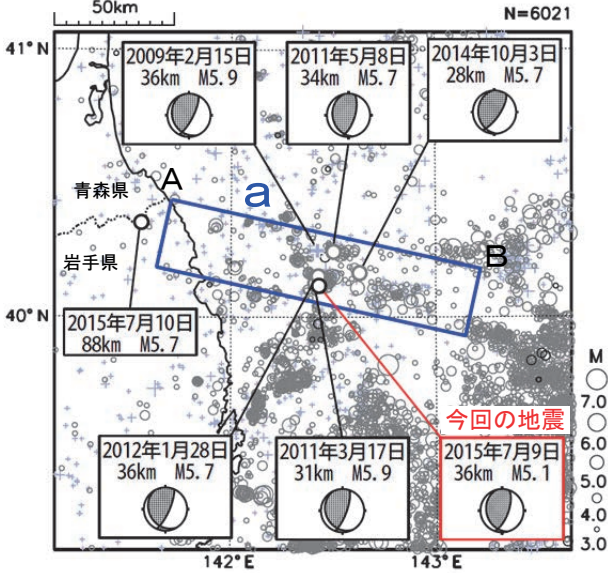


7 月 9 日 岩手県沖の地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2015 年 7 月 31 日、
 深さ 0～120km、 $M \geq 3.0$)
 東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
 東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○
 2015 年 7 月の地震を濃い○で表示
 図中の発震機構は CMT 解

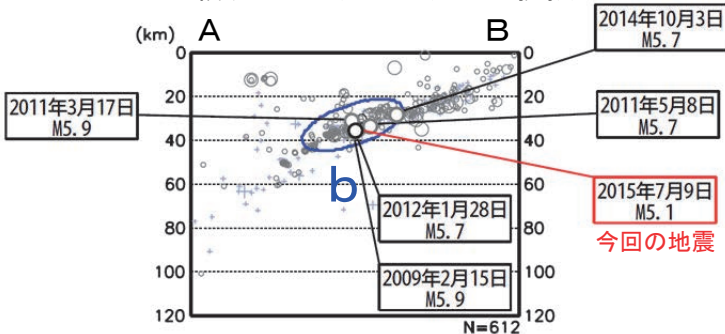


2015 年 7 月 9 日 17 時 27 分に岩手県沖の深さ 36km で $M5.1$ の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は発震機構 (CMT 解) が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

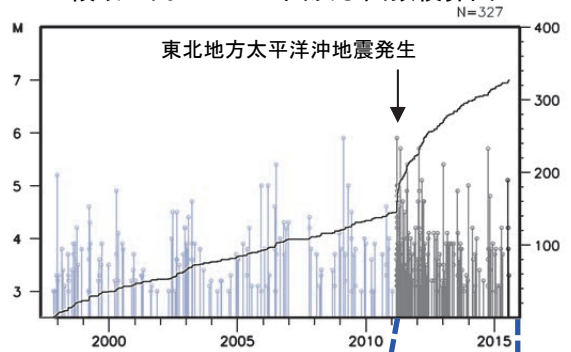
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、 $M5.0$ 程度の地震が時々発生していた。この領域では「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震活動が活発化している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 c) では、1995 年 1 月 7 日に「平成 6 年 (1994 年) 三陸はるか沖地震」の最大余震 ($M7.2$ 、最大震度 5) が発生しているほか、 $M7.0$ を超える地震が時々発生している。

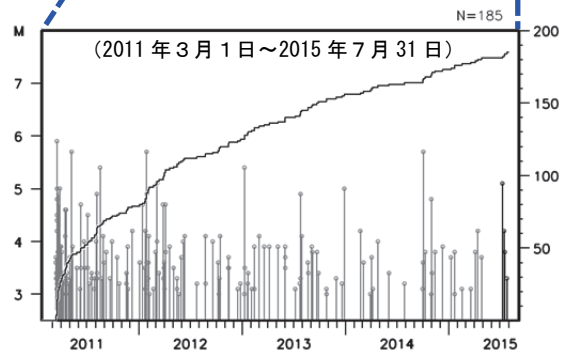
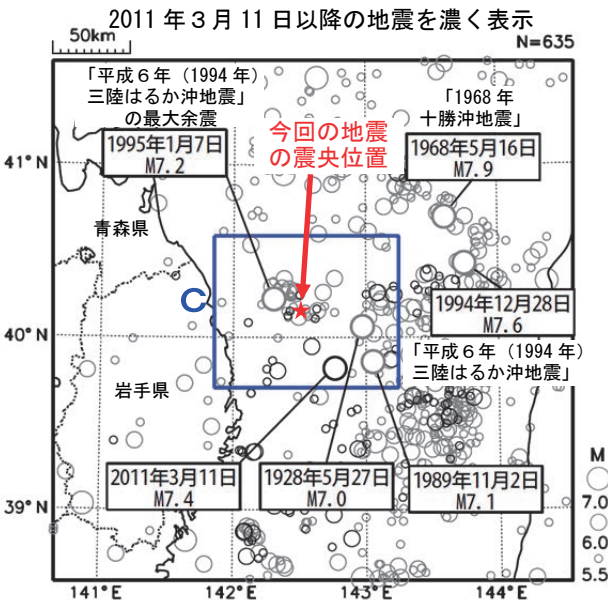
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2015 年 7 月 31 日、
 深さ 0～150km、 $M \geq 5.5$)



領域 c 内の M-T 図

